

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文

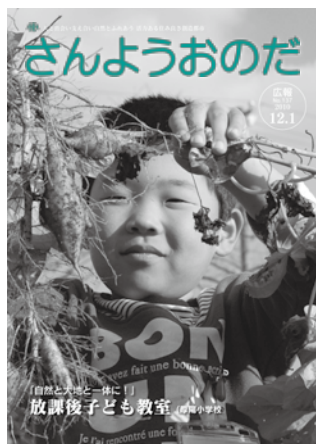


■ 本市はやはり工業都市です

「やまぐち経済月報 2010・11 (No.427)」を読んでいて、平成 21 年の工業統計速報が目につきました。それによると本市は、従業員 4 人以上の事業所数は 103 ですが、その出荷額等は 5,377 億 2,000 万円で、何と周南市、防府市に次いで県下 13 市のうち 3 位ではありませんか。本市の 3 分の 2 はいわゆる中山間地域ですが、実績に照らすと、やはり工業都市なんです。昨年は 4 社の工場増設などで 154 億円の投資があり、新たに 90 人の雇用が生まれました。嬉しいことです。新規の企業誘致にはまだまだ厳しい経済環境ですが、近く何社かの本社訪問を兼ねて、東京、大阪などに出掛けてきます。市民のみなさんに喜んで貰えそうな情報が入手できると良いのですが…。

■ 中学生が職場体験のために市役所にやってきました

昨年 11 月のことですが、高千帆中学校の 2 年生男子 8 人が職場体験学習のため市役所にやってきました。総務課、環境課、農林水産課と社会教育課に 2 名ずつ配属し、そのため用意したメニュー



▲生徒が試作した広報表紙

に従い、広報紙用の写真をパチパチ撮ったり、牧場の牛の予防接種を手伝ったり、不法投棄されたごみの回収に汗を流したり、公民館長から「接客は笑顔が大事」を学んだりしました。2 日間ではありましたが、感想文を読むと、みなさん満足してくれたようです。市長室ものぞいてほしかったですね。今年は 6 月に、入省したばかりの国家公務員の卵・数人が、東京・霞が関から本市に研修にやってきます。

■ 市の広報紙について

みなさんの家庭には、いろいろな団体から広報紙（誌）が届いていることと思います。その中で本市の発行している「広報さんようおのだ」の役割は？ 最近はインターネットばやりで、何かというとホームページに載せていますという返事が返ってきます。しかし、高齢者の大半はインターネットもホームページも苦手です。ですから市民のみなさんに伝えたい大切な情報を厳選して「広報さんようおのだ」に載せることにしています。大切な情報で、万一「広報さんようおのだ」に載せることを失念し、そのため市民のみなさんにご迷惑をお掛けした場合、市はその方々に責任を取り、かつ、お詫びをするつもりです。そのような自覚を持って「広報さんようおのだ」を発行していますので、どうか毎号、パラパラッとでも目を通してくださることを希望します。